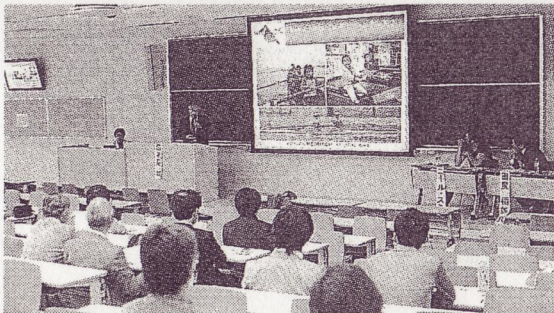


を普及する芝グラウンド天然

びわこ成蹊 環境を考えるシンポ
スポーツ大



・スポーツ環境のあり方を語り合ったシンポジウム（大津市・びわこ成蹊スポーツ大）

びわこ成蹊スポーツ大に拠点を置く総合型地域総合スポーツクラブ「BIWAKO SPORTS CLUB」は18日、大津市の同大学でスポーツ環境を考えるシンポジウムを開いた。天然芝グラウンドなどの幅広い世代が楽しめる環境づくりなどを語り合った。

テーマは「環境があれば人は育つ！スポーツNPOの可能性」で、京滋の行政関係者や教員ら約150人が集まった。

パネルディスカッション

ンでは全国のNPO（特定非営利活動）法人の代表者3人が事例を紹介し、天然芝グラウンド普及を進めるグリーンスポーツ鳥取（鳥取県）のニール・スミス代表は「芝生は人の心を育てる」と強調。所有する天然芝グラウンドで4競技を行う北海道バーバリアンズラグビークラブ（北海道）の田尻稲雄理事長は「スポーツをやりたい人が自立して活動すべき」と語った。

（小池直弘）